

平成 25 年 8 月 8 日

電気事業連合会

(報告) 電気設備地震対策ワーキンググループ報告書 対応状況

平成 24 年 3 月末に、電力安全小委員会電気設備地震対策ワーキンググループで取りまとめられた報告書のうち、最大クラスの津波に関する電力各社の対応状況は、以下のとおり。

1. 対応状況

(1) 全般事項

「各自治体が個別スケジュール^(注)に基づき、内閣府の被害想定を踏まえて、さらに詳細な被害想定を進めている段階であること」かつ「物資輸送のための道路・航路のアクセス対策などの検討にあたっては、自治体、警察、自衛隊といった防災関連機関との調整が必要であること」等の状況を踏まえ、最新の被害想定に進捗に合わせ、各電力は、防災関連機関に対する災害時における復旧人員や復旧資材の輸送のために必要となる緊急車両の事前届出や道路の応急復旧の協力依頼等を含め、具体的な復旧対応策の検討を進めている。

(注) 各自治体の検討については、詳細な被害想定が既に公表されている、あるいは、現在検討中などスケジュールに差が生じている。

(2) 発電設備に関する事項

各火力発電所において、浸水による発電設備や資機材類の被害状況を評価中であり、これらを踏まえ、復旧迅速化を図るための対応検討を予定している。

「復旧対応等マニュアル」については、復旧体制、食料・飲料水や通信手段確保など、「各電力が独自で対応可能な項目」は概ね整備完了している。また、その他工業用水の確保策等各電力が独自で対応が難しい項目については、各自治体等関係各所と協調した対応を検討している。

(3) 変電、送電設備に関する事項

170kV以上の変電所と送電線（電源線を除く）を対象とし、各自治体による被害想定が示された段階で、津波の被災が無い地域への供給に著しい影響を及ぼすかについて評価し、必要に応じて、地域ごとに具体的な対応策を検討している。

2. 今後の対応

各電力は、内閣府から公表された南海トラフ巨大地震に関する被害想定を踏まえた検討から、復旧対応策の具体化を図るべく、今後は、他のライフライン事業者とも協調し、各自治体が主催する防災会議、検討会等に積極的に参画するなど、各自治体の検討スケジュールに基づき、地域ごとに個別検討を進めていく。

以上

(参考) 第1回電力安全小委員会（平成24年12月4日）報告事項抜粋

報告書での対応内容	対応状況
<p>発電設備</p> <p>○ 供給力確保の観点から、発電設備については、個々の重要度や地域毎の被害想定を踏まえ、復旧の迅速化を図るための対応を進める。</p> <p>※ 被災後の復旧を迅速化するため、今回の教訓に基づく浸水被害の復旧対応等マニュアルを整備</p> <p>※ 浸水被害に対する復旧方法の事前検討、復旧に必要な工具の保管場所の検討、非常用資機材（食料、飲料水、機器等の洗浄用水、重機、土壌等）の保有量の再検証、復旧に必要な物資輸送のための道路・航路アクセス対策（事業所外は管轄自治体との連携が必要）の検討など</p>	<p>平成24年8月29日に内閣府から公表された南海トラフ巨大地震に関する津波の影響について、内閣府の詳細データを基に個々の発電設備ごとの被害を想定し、重要度に応じた復旧方法および、復旧に必要な資機材などの数量、保管場所や調達方法などについて検討中。</p> <p>また、事業所外の道路・航路アクセス対策についても、関係自治体と適宜連携しながら検討中。</p> <p>（検討ステップ）</p> <p>STEP1 内閣府から詳細な電子データを入手 （平成24年10月末完了）</p> <p>STEP2 発電設備毎の浸水範囲、浸水深の算出</p> <p>STEP3 設備被害の推定</p> <p>STEP4 復旧迅速化の対応策の検討</p> <p>STEP5 マニュアル類への反映</p>
<p>変電、送電設備</p> <p>○ 損壊すると、電力供給の復旧まで長期にわたり、広範囲の供給支障を及ぼすような著しい影響を与える場合、170kV以上の主要基幹変電所及び主要基幹送電線路（電源線を除く。）については、津波の影響がある海岸部に設置しないことが重要である。</p> <p>こうしたおそれのある既設設備については、被災時に系統操作等を行っても、電力供給に著しい支障を及ぼすことが予想される場合には、減災対策などを行い、津波の影響を緩和する取り組みが必要である。</p>	<p>平成24年8月29日に内閣府から公表された南海トラフ巨大地震に関する津波の影響について、内閣府の詳細データを基に、地域ごとの浸水状況等を算定し、電力供給への影響、対応策などについて検討中。</p> <p>（検討ステップ）</p> <p>STEP1 内閣府から詳細な電子データを入手 （平成24年10月末完了）</p> <p>STEP2 地点別に浸水範囲、浸水深の算出</p> <p>STEP3 設備被害の推定</p> <p>STEP4 電力供給に与える影響の推定</p> <p>STEP5 対応策の検討</p>